
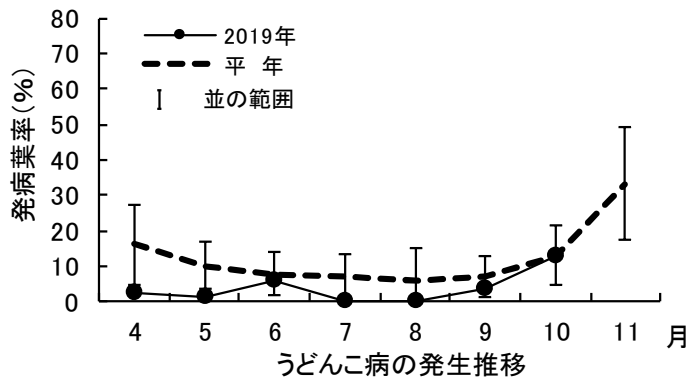


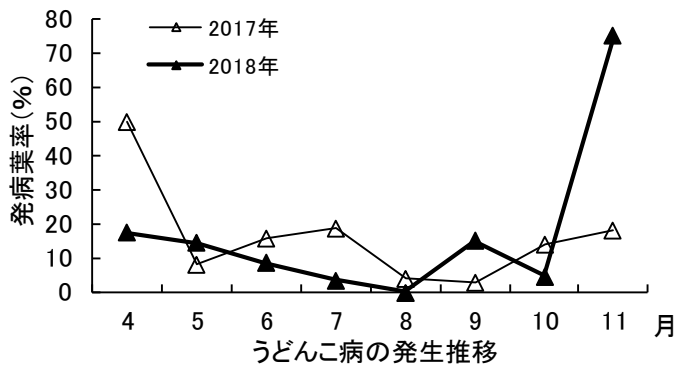
作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	① うどんこ病		
予報	11 月の発生量 (平年比)	並	
	10 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	10 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：80.0% (平年値：67.4%)

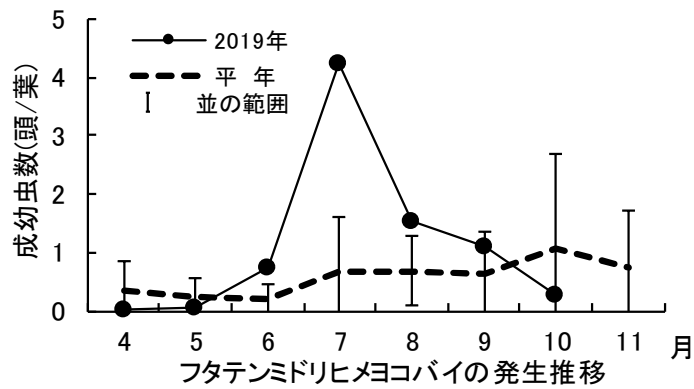
防除のポイント

- ・下位の罹病株や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

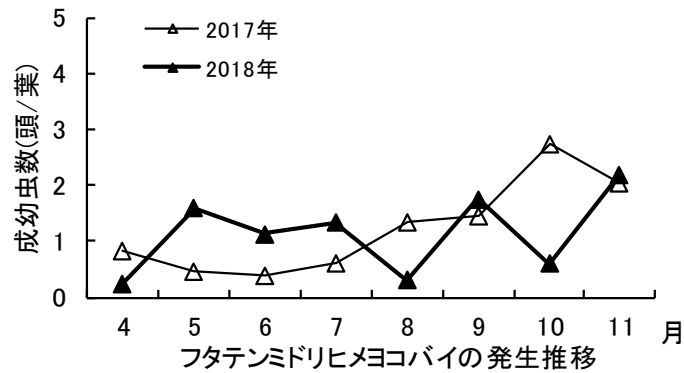
作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	② フタテンミドリヒメヨコバイ		
予報	11 月の発生量 (平年比)	並	
	10 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	10 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	今後 1 か月の気温が平年より高い見込み 平年の11月の発生量	

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：100.0% (平年値：70.2%)

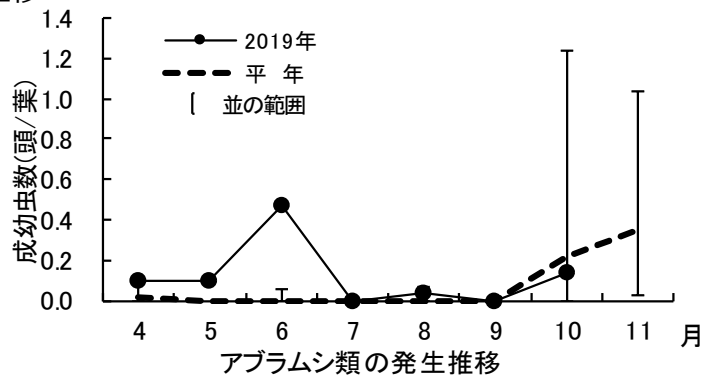
防除のポイント

- ・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。

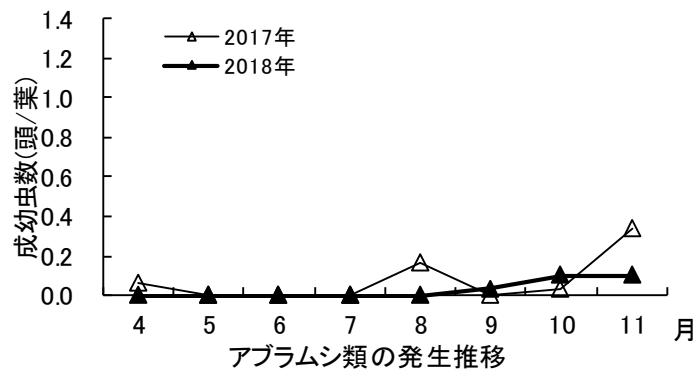
作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
予報	11 月の発生量 (平年比)	並	
	10 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	10 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：20.0% (平年値：25.5%)

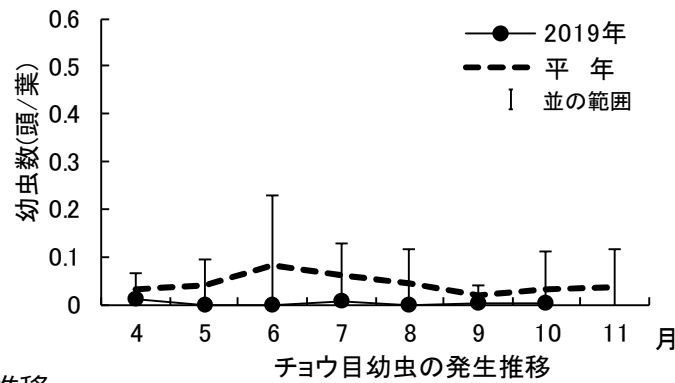
防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

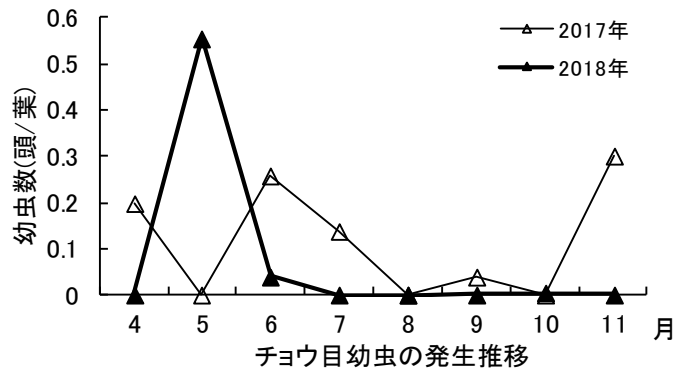
作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)		 <p>フタトガリコヤガ</p>
予報	11 月の発生量 (平年比)	並	
	10 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	10 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



- ・発生ほ場率：20.0% (平年値：25.5%)
- ・発生種はフタトガリコヤガであった。

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。